

ミャンマーから実習生

北見の介護施設「たくさん学ぶ」

北見市の介護老人保健施設いきいき(田中昌博施設長)で、今月からミャンマー人の技能実習生が働き始めた。オホーツク管内で、国の外国人技能実習制度に基づきミャンマー人の介護職の受け入れは、今回が初めてとみられる。

新たに迎え入れた実習生は、エイ・エイ・ネインさん(20)。「基本的な日本語を理解できる」レベルの日本語検定試験のN4に合格している。外務省が入国制限措置を取る前の2月下旬に来日し、1カ月ほど渡島

管内七飯町の日本語学校で学んでいた。北見では、介護職員としてシーツやおむつの交換などの業務を担いながら、日本語を勉強する。

エイさんは初出勤の2日、施設職員から手袋やエプロンの着け方や外し方などを教えてもらった。エイさんは「故郷に戻り、介護の先生になるのが目標。北見でたくさんのことを学びたい」と話していた。

「いきいき」では、本年度中にエイさんを含め3人の技能実習生を受け入れる予定という。(富樫晴香)



職員から手袋の外し方を学ぶエイさん(右)